

3 高付加価値化

(1) 対象地域の現状(高付加価値化)

ア 高付加価値化活動実践者及び志向者の動き

(ア) 管内において、農畜産物加工や直売、農家民宿、農家レストランなど高付加価値化活動に取り組む農業者(法人含む)及びグループ数は、令和6年8月現在202件である。平成28年から比較すると、取り組み総件数は横ばいとなっている。また、グループが減少し法人の取り組み件数が増えている(図1)。

取り組みの内訳は、直売・加工・農家民宿・農家レストランなどがあり、その延べ件数は361件(令和6年普及センター調べ。調査は隔年。)である。最も多い取り組みが産直・直売活動133件、次いで加工活動が110件である(図2)。

継続・発展している活動は、「揺るぎない想い」を持ち、活動目的が明確になっていることが特徴である。さらに、個々の所得向上のみならず、地域の活性化にも貢献しており、さらなる活動発展が望まれている。一方で横のつながりはほとんどなく、交流の場が求められている。

(イ) 新たに高付加価値化を志向する農業者もおり、加工・販売に伴う施設の建設や直売活動についての相談を受ける場面では、普及センターとしての初期の対応が求められている。

また、加工食品の製造・販売においては、食品衛生法に基づくHACCPの考え方を取り入れた衛生管理や食品の各種表示など、法律の改正に伴う支援が必要となっている。

(ウ) 管内では、農業体験やファームステイ、農家レストランなどの多様な取り組み(図2)や、教育旅行の受入や畑ガイドによる農場ツアーもあり、これらを含むグリーン・ツーリズムの取り組みは、十勝の農村振興や地域の活性化にもつながっており、活動の充実が図られている。

(エ) 管内における農産物の輸出状況をみると、令和6年1月現在で12JAが15品目を7カ国へ輸出しており、この他にも輸出に向けた動きがみられる。

イ 高付加価値化情報の収集整理及び提供

(ア) 高付加価値化に係る許認可機関や技術相談機関など問合せ先等を収集・整理した『高付加価値化情報収集先(Q&A)』や、管内の高付加価値化に取り組む農業者を調査した『農家アグリビジネス調査』、本所・各支所にある参考図書・資料や加工機材・機器等のリスト等情報を整理し、本所・各支所職員で共有化を図り農業者等への情報提供に活用している。

ウ 関係機関・事業者との連携、情報共有

(ア) 管内には、帯広畜産大学やとちか財団(北海道立十勝圏地域食品加工技術センター、十勝産業振興センター等を運営)などの研究機関や高付加価値化を支援する組織があり、情報収集や専門的助言を受けることができる環境がある。また、管内には11市町村15カ所(研究機関を含む)の加工施設で、技術者の指導を受けることができる状況にあり、農畜産物の付加価値向上等への取り組みが行われている。

(イ) 農畜産物の高付加価値化を推進するために、これらの機関が企画するセミナーや技術等情報提供を受け、本所・各支所の職員を通じて農業者に随時情報提供している。

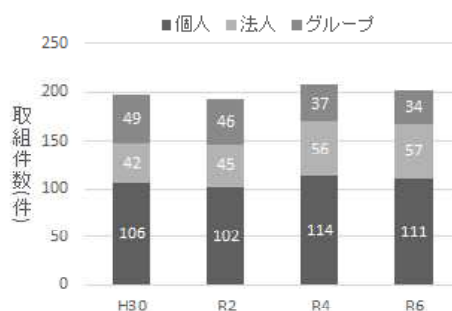


図1 アグリビジネス取組件数

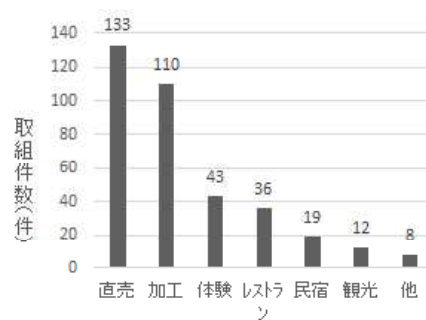


図2 アグリビジネス取組内訳(R6)

(2) 改善方向と対策(高付加価値化)

ア 高付加価値化活動実践者及び志向者の活動支援

(ア) 管内の実践者動向については、常に状況把握に努めるとともに所得向上や地域の活性化へ結びつけるための、技術向上研修会や相互交流の場を設け自発的な参加を促す。

(イ) 新たに高付加価値化に取り組む志向者に対しては基本理念の明確化を促し、各々が目指す活動が実現できるよう支援を行う。併せて管内実践者が集う場への参加も促し、志向者が実践者に助言を受ける機会を創出する。

また、加工食品の製造・販売において、食品衛生法に基づくHACCPに沿った衛生管理の導入や食品の各種表示など、消費者に信頼されるための取組を支援する。

(ウ) 十勝の農村振興や地域活性化のため、十勝総合振興局やグリーン・ツーリズム関連組織の動向を把握し地域資源を活用したグリーン・ツーリズムの取組を支援する。

(エ) 農畜産物の輸出に当たっては、国際基準の取得や使用可能な食品添加物など、国による輸出条件の情報を整理し、情報提供をする。

イ 高付加価値化情報の収集整理及び提供

(ア) 農業者の活動発展に必要な各種情報の蓄積を継続して行い、高付加価値化実践者・志向者への情報提供に活用する。高付加価値化情報収集先(Q&A)、十勝管内高付加価値化情報、農家アグリビジネス調査、参考図書・資料リスト、加工機材・機器リスト等の情報整理を行う。

ウ 関係機関・事業者との連携、情報共有

(ア) 管内の関係機関と連携し、十勝の農畜産物を生かした付加価値の高い加工食品の開発に取り組む組織や農業者の技術向上を支援する。また、地域産業の活性化につながる地産地消の推進や農業者と消費者の結びつきの強化に向けた取組を支援する。

(イ) 商工等の民間にある優れた情報や技術を取り入れ、農畜産物の高付加価値化を図るため、連携活動を推進する。

(3) 推進事項(高付加価値化)

推進事項		高付加価値化活動の推進と支援
主な活動目標		<ul style="list-style-type: none"> ①高付加価値化活動実践者および志向者の活動実現 ②高付加価値化情報の収集・整理および提供 ③関係機関との連携体制構築、情報共有化
活 動 年 次	R 3 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・直売所運営情報提供（2回） ・グリーン・ツーリズム実践者等組織活動支援（運営会議1回、研修会11月開催 12名出席） ・高付加価値化志向者相談マニュアル作成のための情報整備（相談時整理表作成、Q&Aの精査・更新） ・高付加価値化研修会の開催（12月開催 54名出席）
	R 4 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・直売所運営情報提供（2回） ・グリーン・ツーリズム実践者等組織活動支援（運営会議1回、研修会11月開催 37名出席） ・高付加価値化活動を進めるための情報整備（Q&Aの更新・追加、高付加価値化情報の更新・追加、農家アグリビジネス調査の更新） ・研修会の開催（12月開催 48名出席） ・高付加価値化取組事例収集（9事例）
	R 5 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・高付加価値化活動を進めるための情報整備（Q&Aの更新・追加、高付加価値化情報の更新・追加） ・高付加価値化取組事例収集（5事例） ・グリーン・ツーリズム実践者等組織活動支援（運営会議1回、情報交換会1回開催 延べ16名出席） ・H A C C Pに沿った衛生管理導入支援（1戸） ・高付加価値化研修会の開催（11月開催 95名出席）
	R 6 (実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・高付加価値化活動実践者および志向者の活動支援（5件） ・高付加価値化情報の収集・整理および提供（Q&Aの更新・追加、高付加価値化情報の更新・追加、農家アグリビジネス調査の更新、研修会の開催 11月開催 63名出席） ・関係機関との連携・情報の共有（7カ所）
	R 7 (計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・高付加価値化活動実践者および志向者の活動支援 ・高付加価値化情報の収集・整理および提供

(4) 具体的推進計画(高付加価値化)

ア 高付加価値化活動の推進と支援

活動項目	支援対象	活動内容と方法	担当者	連携機関
・高付加価値化活動実践者および志向者の活動支援	高付加価値化活動実践者・志向者	①高付加価値化活動実践者等の活動のレベルアップに向けた研修会の開催 ②高付加価値化活動志向者の取り組み開始に向けた支援	(平田主普) 清水専職 沼宮内専普 寺西係長 街道主査 遠藤専普 富永普職	十勝総合振興局、とかち財団、北海道6次産業化拠点センター、北海道よろず支援拠点、市町村商工会
・高付加価値化情報の収集・整理および提供		①調査の実施と研修会等への活用及び発信		